

平成28年度 基本評価調書

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	所管部局	水産林務部	作成責任者	水産林務部長 小野寺 勝広	施策コード	07 - 04
		照会先	総務課政策調整G (内28-163)	関係課	水産経営課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)			総合計画の指標
	I	1 生活・安心	(5) 道民生活の安全の確保と安心の向上	豊かな食生活を実現する食の安全・安心の確保			HACCP手法による衛生管理導入施設数
	II	2 経済・産業	(1) 農林水産業の持続的な成長	水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり			漁業生産額(漁業就業者1人当たり)
	III	2 経済・産業	(2) 本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造	地域資源を活かした食関連産業の振興			食品工業の付加価値額
	IV	2 経済・産業	(5) 海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展	アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大			道産食品輸出額
	北海道創生総合戦略	A3191	北海道強靱化計画	B4221	新・北海道ビジョン	C00108,C00109,C00304,C00311,C01506 C02706,C02707,C02708,C05909	
	特定分野別計画等	北海道水産業・漁村振興推進計画					

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国内においては、魚離れによる生産量と消費量の需給バランスのずれから、道産水産物の価格維持安定等に支障を来す恐れがあり、魚介類の消費回復を図る必要がある。 TPPの大筋合意など、水産物輸入をめぐる急激な変化により安価な輸入水産物の増加が懸念されるため、国内水産業の体質強化に向けた対策が必要である。 漁家経営の安定を図るため、道産水産物の輸出を促進する必要があるが、海外の既存市場において原発事故による被害を受けた信頼を回復するための取組や、輸出の増大に向けて水産加工場のHACCP認定の取得を促進する必要がある。 道産水産物の安全・安心に関する情報を発信するほか、道産水産物の品質確保のため、漁獲から加工・流通までに至る鮮度保持・衛生管理の高度化に向けた取り組みを促進し、安全で安心な道産水産物の供給を図る必要がある。 	施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 学校等給食への導入や、多様な魚食形態の創出を図ることにより、水産物の消費拡大に向けた取組を推進する。 新たな資源であるブリなど高付加価値化製品の輸出振興を図る。 HACCP取得促進のため、関係機関と連携して講習会等を開催し、水産加工施設の衛生管理の意識高揚を図る。 二枚貝等(マボヤ、ホタテガイ、カキ等)の貝毒監視、海水・水産物の放射性物質モニタリングの実施を行い、その結果を公開する。 鮮度保持・衛生管理に関する取組を推進し、道産水産物の安全・安心の確保を図る。
-------	--	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	【輸出対策】 [道]①HACCP取得講習会の開催 ②輸出先国への安全性等のPR ③輸出品目拡大のためのテスト販売 [国]①HACCP取得のための施設改修に係る財政的支援 [民間]①国外販路開拓PR 【消費拡大対策】 [道]①魚食の普及 ②新たな魚種(ブリ、サバ等)の安全・安心な出荷方法の構築 [民間]①新たな魚種のブランド化等の検討	【貝毒監視】 [道・国・民間]二枚貝等の貝毒監視 [道]ホームページでの公表 【海水・水産物の放射性物質モニタリング】 [道・国・民間]海水・水産物の放射性物質モニタリング [道]ホームページでの公表により安全のPR 【鮮度保持・衛生管理のための高度化の取組など道産水産物の安全・安心の確保】 [道・民間]産地市場の衛生管理点検	施策の予算額	
			H27	44,957
			H28	606,760
			H29	

今年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ◎新たな魚種の海外市場ニーズを把握し、販路拡大を図る。 ◎大規模展示会へ出展し、国際的な知名度の向上を図る。 ◎輸出製品の付加価値化と販路拡大により、輸出金額の増大を図る。 ◎生産者団体と連携し東アジア等への信頼回復を図る。 ◎HACCP取得促進のための講習会を開催し、関連業者の意識向上を図る。 ◎魚離れが著しいため、魚食文化の維持、発展にむけた魚食普及を実施する。 ◎近年急増している新たな魚種(ブリ、サバ等)の安全安心な出荷方法の構築をする。 ◎二枚貝等の貝毒監視、海水・水産物の放射性物質モニタリングの実施する。 ◎道内の産地市場における衛生管理レベル向上のための指導を推進する。 		
◎:主要指標に係る取組 ○:その他の取組			

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
実 績 と 成 果 等		総合戦略	強靱化	ビジョン
・シンガポール、タイ、マレーシア、香港の各百貨店やスーパー、飲食店などにおいて調査を実施する見込み(実施店舗数は現在調整中)。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
・シンガポール、タイ、マレーシア、香港の各百貨店における催事や、スーパーの店頭販売、飲食店におけるメニュー提供を実施する見込み(実施店舗数は現在調整中)。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
・シンガポール、タイ、マレーシア、香港を対象に、ブリ、サバ、イワシの生フィレや秋サケのフライ製品などのテスト輸出、現地におけるニーズ調査と販促など、輸出品目の拡大並びに高付加価値化、新たな輸出先国の確保に取り組む見込み(製品数は現在調整中)。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
・シンガポール、タイ、マレーシア、香港の各百貨店やスーパー、飲食店などで、安全・安心かつ高品質な道産水産物のPR販売を展開する見込み(実施店舗数は現在調整中)。また、道内の各地域で水揚げされた水産物36魚種と、海水の放射性物質を周年モニタリングし、道のHPで公表。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
・HACCP取得のための講習会を毎年、開催地域を調整し、平成26年度から実施しており、平成27年度は函館、札幌の2箇所で開催。本年度も同様、道内2箇所予定。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
・学校給食への導入促進や外食・中食に向けた製品開発などの取り組みに対して支援(補助事業3件)。また、お魚料理教室や体験漁業など、小中学生を対象とした出前授業を実施予定(計3回)。		A3191	B4221	C02706 C05909
・鮮度が低下しやすい青魚等の鮮度管理にあたり、適切な手法をマニュアル化するため、道総研水産試験場に各種試験を委託。平成29年度の完成、普及を目指し、取り進め。		A3191	-	C00109,C00311 C01506,C02706 C02708
・貝毒プランクトン発生状況のモニタリングを実施(17海域)し、ホタテガイ等二枚貝の安全流通を図っている。また、海水(3地点)、水産物(36魚種)の放射性物質のモニタリングも実施し、道産水産物の安全性をPR。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
・北海道ぎょれんと合同で産地市場衛生管理高度化点検を実施しており、平成27年度は全道74漁協の68施設の点検・指導を実施。本年度も全道74漁協の施設を点検・指導予定。		A3191	-	C00108,C00109 C00304,C00311 C01506,C02706 C02707,C02708
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度国の施策及び予算に関する提案・要望事項(H28.8月) ・TPP協定発効に向けた水産物の体質強化対策の推進(輸出促進のための加工流通施設の改修など) ・水産物の輸出拡大に向けた環境整備(ホタテガイ生産海域のモニタリング等への支援継続、日本版水産エコラベルの国際的認知度の向上など) ・国内消費拡大対策の充実・強化(国産水産物の流通促進や魚食の普及等に向けた予算確保など) 	施策に関する道民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ○全道漁協組合長会要請事項 ・今後の貿易自由化の新たな枠組みに向けた水産物貿易対策の強化(流通対策及び産地市場衛生管理高度化対策への支援など) ・国内外の魚価維持・向上に向けた各種流通対策の推進(道産水産物の消費拡大、魚食普及活動の推進と支援など) ・原発関連諸対策の推進(放射性物質の海域・水産物モニタリングの検査体制充実強化など) ○各地方総合開発促進期成会要望事項 ・TPP協定交渉妥結等の影響による魚価の低迷に向けた対策の実施 	

平成28年度 基本評価調書

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07 — 04
-----	----------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
I・II	保健福祉部や農政部、経済部と連携して、食品衛生対策や農産物、水産物などの競争力強化を推進	N0410	保健福祉部食品衛生課	<ul style="list-style-type: none"> ・「HACCP普及推進のための連絡協議会」を開催し、情報交換を行う等、衛生部局との連携を図った。 ・食の輸出拡大戦略の達成に向けて、輸出促進の各種取り進めを協議。また、販路拡大に向けた輸出事業の取り進めに際しては、相乗効果を期待し、実施時期や場所など調整のもと、合同開催を企画。 ・道産食材のPR・消費拡大に向けて、地産地消お弁当キャンペーン(空弁)を共同で取り進め。
		N0501 N0502	経済部食関連産業室	
		N0601	農政部食品政策課、農産振興課、畜産振興課、農政課	
IV	道産水産物の商流の構築に向けて、海外アドバイザーなどの支援機能を活用するほか、海外アンテナショップを活用し、関係施策における輸出向け商品の選定、開発など企業や地域における海外向けマーケティング活動を支援。	N0503	経済部国際経済室	(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ・食の輸出拡大戦略の達成に向けて、輸出促進の各種取り進めを協議。また、販路拡大に向けた輸出事業の取り進めに際しては、相乗効果を期待し、実施時期や場所など調整のもと、合同開催を企画。

平成28年度 基本評価調書

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07 — 04
-----	----------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37					
HACCP手法による衛生管理導入施設数(累計)		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	年度	H27	H28	進捗率	達成度合の分析 ほか
		基準値	511	目標値	960	最終目標値	1500					
〔指標の説明〕 HACCPによる衛生管理手法を導入している施設の数	根拠計画	増減方向		達成率の算式		達成率	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか		
		北海道総合計画		増加							$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$	

主②	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	h26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h25	年度	h28	最終年度	h37					
漁業生産額(万円) (漁業就業者1人当たり)(暦年)		基準年度	h25	年度	h28	最終年度	h37	年度	h26	h27	進捗率	達成度合の分析 ほか
		基準値	978	目標値	960	最終目標値	1128					
〔指標の説明〕 漁業就業者1人当たりの漁業生産額	根拠計画	増減方向		達成率の算式		達成率	A	評価年度	h26	達成度合の分析 ほか		
		北海道総合計画 北海道水産業。漁村振興推進計画		増加							$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$	

主③	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	—	評価年度	—	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37					
食品工業の付加価値額(億円) (暦年)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37	年度	H27	H28	進捗率	達成度合の分析 ほか
		基準値	5,748	目標値	5,864	最終目標値	6,500					
〔指標の説明〕 北海道における食品工業の付加価値額 (工業統計から算出)	根拠計画	増減方向		達成率の算式		達成率	—	評価年度	—	達成度合の分析 ほか		
		北海道総合計画		増加							$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$	

主④	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37					
道産食品輸出額(億円)(暦年)		基準年度	h26	年度	h28	最終年度	h37	年度	H27	H28	進捗率	達成度合の分析 ほか
		基準値	663	目標値	833	最終目標値	1500					
〔指標の説明〕 本道から函館税関を通じ、直接海外へ輸出された道産食品の通関額。平成30年に輸出額1,000億円という目標を達成し、以降それ以上をめざすこととしている。	根拠計画	増減方向		達成率の算式		達成率	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか		
		北海道総合計画		増加							$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	—	結果
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標	2			1	1	
関連指標							

平成28年度 基本評価調査

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07-04
-----	----------------------	-------	-------

Plan 施策推進計画(事務事業) (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2) Do and Check 事務事業評価

4 事務事業の設定 4-2 事務事業の評価

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定 (P)										事務事業評価 (C)										
					平成28年度 執行体制 (人工)										一次政策評価										
					事業費 (千円)	本庁			フルコスト	総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	重点点検事項				必要 な見 直し	予算	サービ ス	方向性			
本庁	出先 機関	人工計	人件費	H27二次政策 評価意見		対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期							推 進 事 項										
07023400	主③	水産物流通安全対策事業費	ホタテガイ等二枚貝の貝毒検査及び認定加工場に対する巡回指導を実施し、安全な出荷体制を確保する。	水産経営課	3,892	1.3	1.2	2.5	20,613	24,505									○	○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
07023500	主④	ホタテガイ海域拡大管理推進事業費	ホタテガイの対EU輸出に向け、EU指令の衛生基準をクリアするために必要な体制整備等の対策を講じる。	水産経営課	5,673	1.8	1.4	3.2	26,384	32,057			○							○	○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	
07023699	主①	水産物の安全・安心の確保に関すること	漁業者による生鮮水産物の鮮度保持の取組、ノロウイルスなどによる食中毒防止対策の促進、漁協などの産地市場の衛生管理の向上、トレーサビリティシステムの導入を図ることにより、道産水産物の安全・安心の確保を図る。	水産経営課	0	1.7	1.9	3.6	29,682	29,682										○	-	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)		
07023700	主③	ほたて貝等二枚貝類対策試験調査費	ホタテガイの浮遊幼生分布や貝毒ブランクton発生状況の調査。	水産経営課	2,932	0.5	0.1	0.6	4,947	7,879											○	○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
07023800	主②	緊急海水・水産物モニタリング調査事業費	福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質を含んだ廃液が海洋に放出されたことから、水産物のモニタリング調査を実施し、道産水産物に関する放射能汚染の情報提供を定期的に行うことで、安全・安心な道産水産物のPRを行う。	水産経営課	467	0.7	0.0	0.7	5,772	6,239			○								○	○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
07023900	主②	水産物流通調整対策費	輸入対策及び流通問題に関する国への要請、国際貿易交渉の情報収集、検討会議への出席等により、水産物の秩序ある輸入体制の確立及び流通諸対策を推進し、道産水産物の価格安定・安定供給を図る。	水産経営課	369	0.9	0.7	1.6	13,192	13,561											○	○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
07024099	主②	水産食品振興に関する企画、調整、調査に関すること	水産食品振興に関する企画、調整、調査に関する事務全般。	水産経営課	0	0.5	0.0	0.5	4,123	4,123											○	-	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
07024199	主②	財団法人魚価安定基金協会事業に関すること	財団法人魚価安定基金が行う支援事業に関する事務。	水産経営課	0	0.1	0.0	0.1	825	825											○	-	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持

平成28年度 基本評価調査

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07-04
-----	----------------------	-------	-------

Plan 施策推進計画(事務事業) (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2) Do and Check 事務事業評価

4 事務事業の設定 4-2 事務事業の評価

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定 (P)										事務事業評価(C)													
					平成28年度 執行体制(人工)					フルコスト	総合 戦略	強 弱 化	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	重 点 事 業	地 域 重 点	一次政策評価												
					事業費 (千円)	本庁	出先 機関	人工計	人件費							重点点検事項				H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期	推 進 事 項	必 要 な 見 直 し	予 算	サー ビ ス	方 向 性
07024299	主②	社団法人北海道水産物検査協会に関すること	社団法人北海道水産物検査協会及び法人が行う業務の指導に関する事務。	水産経営課	0	0.1	0.0	0.1	825	825													○	-	継続(現状維持)	現状維持		
07024399	主②	北海道水産物加工協同組合連合会に関すること	北海道水産物加工協同組合連合会が行う業務の指導に関する事務。	水産経営課	0	0.1	0.0	0.1	825	825														○	-	継続(現状維持)	現状維持	
07024499	主②	道産食品独自認証制度に関すること	道産食品独自認証制度のうち、水産物独自認証制度に関する事務。	水産経営課	0	0.1	0.0	0.1	825	825														○	-	継続(現状維持)	現状維持	
07024500	主④	道産水産物輸出市場対策事業費	海外既存市場への信頼回復を図るために道産水産物における安全性PRを実施することともに、水産加工場のHACCP認定取得を促進することで輸出の増加を目指し、漁業者及び加工業者の所得向上を図る。	水産経営課	1,012	0.3	0.0	0.3	2,474	3,486	○			○										○	○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
07024600	主②	道産ブリ・サバ消費拡大推進事業費	道内全体の水揚げが減少する中、近年、急増しているブリ・サバを新たな水産資源として有効活用するため、特性等調査の実施や道内外へ普及することで消費の拡大を図る。	水産経営課	2,773	0.6	0.0	0.6	4,947	7,720	○			○											○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小
07024700	主②	道産水産物魚食普及推進事業	魚食文化の維持、発展に向けて、学校等給食への導入や多様な魚食形態の創出を図ることにより、減少を続ける魚介類の消費を回復させる。	水産経営課	2,311	0.3	0.1	0.4	3,298	5,609				○											○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持
07024800	主②	さけ・ます加工原料緊急対策事業費	さけ・ます流し網漁業の禁止措置による加工原料の不足に対応するため、加工原料の転換に伴う製造ラインの改修や、輸入さけます等の加工原料確保に伴う輸送費等、水産加工業者の掛かり増し経費に支援する。	水産経営課	560,287	0.4	0.2	0.6	4,947	565,234															○	終了	終了	終了
07024900	主④	道産水産物販路拡大推進事業	北海道食の輸出戦略に基づき、北海道全体の食品輸出額をH30までに1000億円へ拡大するため、道産水産物の輸出品目と販路の拡大を促進する。	水産経営課	27,044	0.6	0.0	0.6	4,947	31,991	○			○	○										○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)
計					606,760 (千円)																							

<様式5>

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	課題あり	<p><HACCP手法による衛生管理導入施設数【D】> ・導入の有用性等、関係者の意識向上を図るべく取り組みを継続中であり、徐々に進みつつあるが、飛躍的な増加には至っていない。</p> <p><道産食品輸出額【A】> ・関係者と一体となった取組により、順調に推移。</p> <p><漁業生産額【A】> ・安定生産、消費拡大等、各方面における取り組みの効果が徐々に現れている。</p> <p><食品工業の付加価値額【-】> ・最新の実績はH26年度の統計の数値。H26年の数値が基準値であるため、達成度合の評価は不可。 ・当部は水産物の高付加価値化、消費拡大という観点で取り組んでいる。</p>	<p><施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか> ・「北海道創生総合戦略」のほか、「北海道食の輸出拡大戦略」に基づき、目標の達成に向けて効果的な取組が推進されている。</p> <p><施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか> ・道産食品の輸出拡大に向けた取り組みの支援等、国に提案・要望を行った結果、HACCP認定の取得に向けた施設整備や販路開拓の取り組み支援等、状況の進捗が認められる。</p> <p><道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか> ・関係団体からの要望内容を反映し、施策の効果的な推進につなげている。</p> <p><施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか> ・「食の輸出拡大戦略推進本部員会議」などを通じた取り組み等、関係部と連携した成果を確認できる。</p>	+評価
関連指標				

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標の一部に改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	--

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
①	輸出目標の達成並びに漁業経営の安定に向けて、HACCPの認定取得などの輸出環境の整備や、販路開拓などの取り組みを継続する。		A3191	B4221	C00108, C00109, C00304 C00311, C01506, C02706 C02707, C02708, C05909

平成28年度 基本評価調書

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07 - 04
-----	----------------------	-------	---------

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策目標の達成状況（目標達成に向けてさらなる取組が必要）】 目標達成に遅れが見られる「食品の安全性確保対策」の促進に向け、関係部局や関係機関の連携により、HACCP導入を担う人材育成の充実を図るなど、より実効性の高い取組となるよう検討すること。
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07	—	04
-----	----------------------	-------	----	---	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価		主な対応		
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
07023400	水産物流通安全対策事業費		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小			
07023500	ホタテガイ海域拡大管理推進事業費		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小			
07023699	水産物の安全・安心の確保に関すること				○	—	継続(現状維持)	見直し検討(指標関連)	見直し検討	来年度の事業構築に当たっては、成果指標の「HACCP手法による衛生管理導入施設数(累計)」の目標値の着実な達成に向けて、指標を共有する事業間の連携も含め、必要な見直しを検討すること。	現状維持	関係部局等と連携しながら、ノロウイルスなどによる食中毒防止対策の促進、漁協などの産地市場の衛生管理の向上に努めることにより、衛生管理に関する意識を高め、HACCP導入施設数の目標達成に向け引き続き取り組んでいく。
07023700	ほたて貝等二枚貝類対策試験調査費		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小			
07023800	緊急海水・水産物モニタリング調査事業費		○		○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小			
07023900	水産物流通調整対策費		○		○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
07024099	水産食品振興に関する企画、調整、調査に関すること				○	—	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07024199	財団法人魚価安定基金協会事業に関すること				○	—	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07024299	社団法人北海道水産物検査協会に関すること				○	—	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07024399	北海道水産物加工協同組合連合会に関すること				○	—	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07024499	道産食品独自認証制度に関すること				○	—	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07024500	道産水産物輸出市場対策事業費		○		○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
07024600	道産プリ・サバ消費拡大推進事業費				○	継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
07024700	道産水産物魚食普及推進事業		○		○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価			主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
07024800	さけ・ます加工原料緊急対策事業費				○	終了	終了	終了	終了		終了	
07024900	道産水産物販路拡大推進事業	○ (05032500) (06031900)			○	継続(現状維持)	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討		縮小	

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07 — 04
-----	----------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
①	<p><新たな取組等> 水産加工場等に対し、広くHACCPの考え方について、周知するため、ホームページの「水産物のHACCP関連情報」のページを充実させるとともに、引き続き地方において「HACCP取得促進のための講習会」を開催する。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況（目標達成に向けてさらなる取組が必要）】	<p>これまでHACCPに興味を示していない者を含め、広く食品事業者に対し、HACCPの考え方についての知識を普及することにより、HACCPに取り組む事業者を増やしていく。 また、HACCPに取り組む事業者に対しては、関係部局と連携した人材育成のための講習会を引き続き実施するほか、現地へ赴き施設の状況に応じた技術支援を実施する。</p>		

平成28年度 基本評価調書

施策名	安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	施策コード	07 — 04
-----	----------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	2 事業	事業	8 事業	5 事業	事業	事業	1 事業	16 事業
反映結果	事業	事業	8 事業	7 事業	事業	事業	1 事業	16 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業（予定）
事業